

平成 31 年度

推薦入試学生募集要項

- 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）
人間発達文化学類 芸術・表現コース，スポーツ健康科学コース
行政政策学類
経済経営学類
共生システム理工学類
- 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）
人間発達文化学類 教育実践コース，心理学・幼児教育コース，
特別支援・生活科学コース，人文科学コース，
数理自然科学コース



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064（入試課）
<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

ページ

Ⅰ	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
Ⅱ	推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）	6
	1. 募集人員等	
	2. 出願資格	
	3. 推薦要件	
	4. 選抜方法	
	5. 採点・評価	
	6. 試験日程・時間割	
	7. 出願手続	
	8. 合格者発表	
	9. 入学手続	
	10. 入学金・授業料の減免について	
Ⅲ	推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）	16
	1. 募集人員等	
	2. 出願資格	
	3. 推薦要件	
	4. 選抜方法	
	5. 採点・評価	
	6. 試験日程・時間割	
	7. 出願手続	
	8. 合格者発表	
	9. 入学手続	
	10. 入学金・授業料の減免について	
Ⅳ	障害等のある入学志願者の事前相談	22
Ⅴ	合格しなかった者の取り扱い	22
Ⅵ	入試情報の公開（開示）について	22
Ⅶ	入学志願者の個人情報保護	23
Ⅷ	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について	24
	大学案内図	本要項末

この要項には、以下のものが添付されているので確認してください。

- ・入学志願票, 写真票, 受験票（推薦入試Ⅰ 各学類別）
- ・入学志願票, 入学志願受付票, 写真票, 受験票（推薦入試Ⅱ）
- ・志願理由書（各学類別）
- ・推薦書（推薦入試Ⅰ, 推薦入試Ⅱ）
- ・実技実績調査書（人間発達文化学類 芸術・表現コース, スポーツ健康科学コース用）
- ・検定料収納証明書貼付票・検定料免除申請書
- ・受験票等返送用封筒
- ・宛名票（シール）
- ・出願用封筒

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- 現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- 人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- 学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つのコースがあり、1年生の前期（第1セメスター）から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般入試・前期日程] 募集人数 166人

[一般入試・後期日程] 募集人数 19人

[推薦入試Ⅰ] 募集人数 20人

[推薦入試Ⅱ] 募集人数 55人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入試の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力
- (2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち1つ以上）
 - ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
 - ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
- (3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

[行政政策学類]

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3 Semester）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[昼間の一般入試・前期日程] 募集人数 108人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の一般入試・後期日程] 募集人数 35人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の推薦入試] 募集人数 42人

調査書（評定平均4.3以上）、志願理由書（「法・地域・社会・文化について関心がある者」）

提出を推薦要件とし、個別学力検査（小論文）と面接によって実施。

[夜間主のアドミッション・オフィス（AO）入試] 募集人数 20人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入試の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力（以下のうち1つ以上）
 - ・国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。
 - ・上記科目のうち，いずれか3科目について，優れた知識を有している。
- (2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力（以下のうち1つ以上）
 - ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
 - ・政治，経済，社会的な問題などに関心を持ち，深く考察する態度
 - ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

[経済経営学類]

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・経済学と経営学の専門知識
- ・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- ・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- ・グローバルに思考し実践に進む力
- ・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には、「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり、2年生の後期（第4セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般入試・前期日程]	募集人数	115人
[一般入試・後期日程]	募集人数	40人
[推薦入試・A推薦]	募集人数	20人
[推薦入試・B推薦]	募集人数	30人
[推薦入試・C推薦]	募集人数	10人
[専門学科・総合学科卒業生入試]	募集人数	5人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入試の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

(1) 高校時代までの基礎的な学力

：国語，地歴公民，理科，数学，外国語について，修学に必要な知識を有している。

(2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力

(3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲

(4) 得意分野に関する優れた学力・実績(推薦入試および専門学科・総合学科卒業生入試に該当)

：推薦入試および専門学科・総合学科卒業生入試では，上記の(1)・(2)・(3)に加え，以下の点を評価します。

●推薦入試（以下のうち1つ以上）

A推薦：行動力や創造力に基づいた，特記すべき活動歴を有している。

B推薦：簿記・情報関連に対する優れた知識，ないし関連資格を有している。

C推薦：英語等の外国語に関する優れた知識，ないし関連資格を有している。

●専門学科・総合学科卒業生入試

簿記，情報等の実践的科目に対する優れた知識を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では，21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき，人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で，卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- 幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- 論理的で的確な立案力と決定力
- 学際的・国際的に実践する力
- 積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では，1年生で数学，物理学，化学，生物学，地球科学，プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに，「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・システム的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した9つのコース※の中から1つを選択して専門領域を深く学び，3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて，演習や卒業研究を行います。

※9コース：数理・情報科学コース，経営システムコース，物理・システム工学コース，物質科学コース，エネルギーコース，生物環境コース，地球環境コース，社会計画コース，心理・生理コース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

[アドミッション・オフィス（AO）入試] 募集人数 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題、自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑、志願理由書および調査書により、高等学校の基礎的な学力、論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

[推薦入試] 募集人数 20人

小論文、面接、志願理由書および調査書により、基礎学力、理解力、論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の評定平均値が4.0以上の人を対象としており、高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

[3年次編入学] 募集人数 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に、面接と提出書類（志願理由書、推薦書、調査書）により、本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち、学習意欲が高い人を選抜します。

[一般入試] 募集人数 前期日程70人、後期日程45人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査、センター試験（5教科7科目）および調査書により、基礎的な科目を広く習得し、理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

3. 入試の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

Ⅱ 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない推薦入試)

1. 募集人員等

学類・コース		入試区分・募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
人間発達文化学類	芸術・表現コース	音楽 4人 美術 4人	3人	11月1日(木) ～ 11月7日(木)	11月14日(水) 予備日 (スポーツに限る) 11月15日(木)	11月 22日(木)	12月 14日(金) ～ 21日(金)
	スポーツ健康科学コース	スポーツ 12人					
行政政策学類	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	42人	制限なし		11月17日(土)	11月 29日(木)	
経済経営学類	経済学コース 経営学コース	A推薦 20人 B推薦 30人 C推薦 10人	3人		11月17日(土)	11月 29日(木)	
共生システム理工学類	数理・情報科学コース	20人	制限なし		11月24日(土)	11月 29日(木)	
	経営システムコース						
	物理・システム工学コース						
	物質科学コース						
	エネルギーコース						
	生物環境コース						
	地球環境コース						
社会計画コース 心理・生理コース							

(注) 1. 所属コースについて

行政政策学類：所属コースは、1年次後期に本人の希望を考慮して決定します。

経済経営学類：所属コースは、2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

共生システム理工学類：所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

2. 1校で推薦できる人数について

人間発達文化学類と経済経営学類の「1校で推薦できる人数」については、1学類につき3名までとなります。入試区分ごとの人数ではありません。

2. 出願資格 (人間発達文化学類, 行政政策学類, 共生システム理工学類)

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校 (特別支援学校 (盲学校, 聾学校および養護学校を含む。)) の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。) を平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成30年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了または修了見込みの者

出願資格（経済経営学類）

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成30年3月以降に卒業または平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成29年4月以降年度の途中で高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了または修了見込みの者

3. 推薦要件

志願する学類・入試区分のすべての推薦要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。

学類・コース		入試区分	推 薦 要 件
人間発達 文化学類	芸術・表現 コース	音 楽	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、受験する科目（音楽）の評定平均値が4.3以上の者 (2) 音楽において優れた技能を有する者 分野は、声楽、ピアノ、管弦打楽器（試験に持参できるものに限る。）、作曲、指揮とする
		美 術	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、受験する科目（美術）の評定平均値が4.3以上の者 (2) 美術において優れた技能を有する者 分野は特に限定しない
	スポーツ 健康科学 コース	スポーツ	(1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者 (2) 次の種目において、優れた技能を有し、全国大会（国民体育大会、全国高校総合体育大会、全国高校選手権大会等の競技会）またはブロック大会に出場した者 陸上競技、体操競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、剣道、ダンス、テニス（ソフトテニスは含まない。）
行政政策学類			(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 現代社会の諸問題や地域の諸課題について関心がある者
経済経営学類※		A推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 出身学校において特記すべき活動歴を有する者 例) 課題研究（グループ研究を含む。）で優れた業績を作成した者。生徒会・部活動等において責任のある役割を経験した者。スポーツ・文化等の分野において活躍した者。各種の資格試験・検定試験等に合格した者。学外における社会活動に積極的に参加した者 (3) 学力・人物が優れている者

学類・コース	入試区分	推 薦 要 件
経済経営学類※	B推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 以下の検定試験のいずれかに合格している者 ① 日本商工会議所主催 簿記検定試験1級または2級（なお、1級に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② (公財)全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験第1級試験 ③ (公財)全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験第1級試験 ④ 経済産業省認定（情報処理推進機構 情報処理技術者試験センター実施）基本情報技術者試験 (3) 学力・人物が優れている者
	C推薦	(1) 調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 (2) 以下の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者 ① (公財)日本英語検定協会主催 実用英語技能検定（英検）2級以上（なお、準1級以上に合格している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ② (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC 500点以上（なお、700点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。）（TOEICのIP（Institutional Program）は除く。） ③ 国際教育交換協議会主催 TOEFL iBT52点以上（なお、68点以上の点数を取得している者は推薦書裏面の資格記入欄に朱記すること。） ④ (公財)ドイツ語学文学振興会主催 ドイツ語技能検定試験（独検）4級以上 ⑤ (公財)フランス語教育振興協会主催 実用フランス語技能検定試験（仏検）5級以上 ⑥ (一財)日本中国語検定協会主催 中国語検定試験（中検）準4級以上 ⑦ ロシア語能力検定委員会主催 ロシア語能力検定試験4級以上 ⑧ (公財)日本スペイン協会主催 スペイン語技能検定試験5級以上 (3) 学力・人物が優れている者
共生システム理工学類		(1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 (2) 本学類のアドミッション・ポリシーに適合し、本学類で学ぶ強い意欲を持っている者

※ 推薦する場合の留意点：試験科目に英語は課していませんが、経済経営学類では英語を含む語学教育を重視したカリキュラムを実施しているため、推薦される者にはその点への留意が必要です。

(注) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部（学類）の学科・課程・専攻等に限ります。

したがって、本学において同一人物が「推薦入試Ⅰ」および「推薦入試Ⅱ」の両方に出席することはできません。

4. 選抜方法

大学入試センター試験を課さずに、以下の方法によって行います。

なお、出願書類は判定の基礎資料として利用します。

学類・コース		入試区分	選 抜 要 件
人間発達 文化学類	芸術・表現 コース	音楽・美術	小論文（100点満点）、面接（実技実績、出願時に提出した作品の評価を含む。100点満点）、実技試験（100点満点）の成績の総合点により判定します。ただし、小論文および面接、実技試験の得点が一定の点数（30点）に達しない者は、合格者とはなりません。
	スポーツ 健康科学 コース	スポーツ	小論文（100点満点）、面接（実技を含む。100点満点）、実技実績評価（100点満点）の成績の総合点により判定します。ただし、小論文および面接の得点が一定の点数（30点）に達しない者は、合格者とはなりません。また、1種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。
行政政策学類			小論文（100点満点）、面接（50点満点）の成績の総合点により判定します。
経済経営学類		A推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）の成績の総合点により判定します。
		B推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。
		C推薦	小論文（100点満点）、面接（100点満点）、朱記要件加算（50点）の成績の総合点により判定します。
共生システム理工学類			小論文（40点満点）、面接（60点満点）の成績の総合点により判定します。

5. 採点・評価

小論文・面接・実技検査（注 人間発達文化学類については、11ページの実技検査の持参品も必ず参照すること。）

学類・コース		入試区分	小論文	面接・実技検査
人間発達文化学類	芸術・表現コース	音楽・美術	<p>芸術や文化についての資料を与え、1,000字程度で論述させ、論述能力をみるとともに、芸術・文化に対する知識や関心などを総合的にみます。</p>	<p>実技試験：音楽は、専門として出願した分野が演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器）の場合は、あらかじめ出願者が準備した任意の曲（複数も可）を演奏し（声楽、ピアノは暗譜）、作曲および指揮の場合は、和声課題（四声体）を解答させます。その結果をもとに、広い観点から、音楽性、技術性、芸術性、可能性などを判断します。</p> <p>美術は、以下の3問の中から出願時にあらかじめ受験者が1問を選択します。</p> <p>① 素描（鉛筆または木炭によるデッサン） 形態把握力、質感表現力、色彩感覚、構成力等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p>② デザイン（平面構成） 発想力、計画性、構成力、技巧性、色彩感覚等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p>③ 立体造形（塑造） 構築性、質感表現力、量感表現力、発想力等を含めた総合的な表現力をみます。</p> <p>面接：提出資料に基づいて、過去の実技実績や芸術文化に関する活動内容等を評価し、専門領域への関心や意欲をみます。</p> <p>音楽は、過去の実技実績、すなわち演奏や発表の実績（演奏、発表、受賞）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料、作品や演奏の録音・録画などの記録の提出を求めます。</p> <p>美術は、過去の実技実績（制作した作品や展覧会、コンクール等での発表活動）や専門分野に関する活動（サークル活動・社会活動など）の資料（写真やコピー）提出を求めます。</p>
	スポーツ健康科学コース	スポーツ	<p>スポーツや健康についての資料を与え、1,000字程度で論述させ、スポーツや健康に対する論理的思考力を総合的にみます。</p>	<p>面接：スポーツに関する基礎的な知識と、生涯にわたってスポーツに携わっていくことへの意欲や関心を総合的にみます。また、実技検査を行い、専門種目の技能を評価します。</p> <p>実技実績評価：競技成績に基づいて評価します。</p>

学類・コース	入試区分	小論文	面接・実技検査
行政政策学類		現代社会の諸問題や地域における諸課題についての資料を示し、それに関して800～1,000字程度で論述させ、資料を正確に理解し、知識や問題意識を的確に論述することができるかを総合的にみます。	志願理由書をもとに、志望動機および入学意志が明確か、勉学意欲が旺盛か、現代社会の諸問題や地域の諸課題に強い関心と深い知識があるか、説明能力があるかを総合的にみます。
経済経営学類	A推薦 B推薦 C推薦	一定の素材を与え、それに関連して1,200字以内で論述させ、読解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	推薦書、志願理由書に基づいて質問を行い、問題意識や勉学意欲を総合的にみます。
共生システム理工学類		資料に基づき論述させ、理解力、思考力、表現力等を総合的にみます。	面接により、基礎学力、積極性、理工学的社会問題への関心、コミュニケーション能力等を評価します。

実技検査の持参品（人間発達文化学類）

コース	入試区分	持参品
芸術・表現コース	美術	<ul style="list-style-type: none"> ・素描：鉛筆デッサンの場合…鉛筆、消し具、カッターナイフ 木炭デッサンの場合…木炭、消し具、パン、ガーゼ、芯抜き ・デザイン：鉛筆、消し具、カッターナイフ、紙きりハサミ、ポスターカラーまたはアクリルガッシュ、筆、パレット、三角定規1組、直定規（目盛りつき）、コンパス ・立体造形：鉛筆、消し具、カッターナイフ、粘土ベラ
スポーツ健康科学コース	スポーツ	<p>運動着および次に示すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技：スパイクシューズ（ピン9mm以下）・スローイングシューズを持参しても構いません。 ・体操競技：体操競技に適した用具・服装 ・バレーボール：屋内用運動靴 ・バスケットボール：屋内用運動靴 ・サッカー：スパイクおよび屋内用運動靴 ・剣道：竹刀、剣道具 ・ダンス：屋内用運動靴 ・テニス：ラケット、テニスシューズ

6. 試験日程・時間割

学類・コース		入試区分	試験日	試験科目等	試験時間
人間発達 文化学類	芸術・表現 コース	音楽・美術	11月14日(水)	小論文	9:00~10:30
				実技	11:00~12:30 終了予定
				面接	13:30~17:00 終了予定
	スポーツ 健康科学 コース	スポーツ	11月14日(水)	小論文	9:00~10:30
				実技	11:00~12:30 終了予定
				面接	13:30~17:00 終了予定
			11月15日(木) (予備日)	面接	9:00~17:00 終了予定
行政政策学類		/	11月17日(土)	小論文	10:00~11:30
				面接	12:30~17:00
経済経営学類		A推薦 B推薦 C推薦	11月17日(土)	小論文	9:00~10:30
				面接	11:00~17:00
共生システム理工学類		/	11月24日(土)	小論文	10:00~11:30
				面接	13:00~17:00

試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

7. 出願手続

(1) 出願期間

平成30年11月1日(木)～11月7日(水) 午後5時まで

(2) 出願書類提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064

(3) 出願方法

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付した出願用封筒により、必ず書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、平成30年11月6日(火)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、本学所定の封筒以外で郵送する場合は、「○○（志願する学類名）学類推薦入試願書在中」と朱書きし、必ず書留速達にしてください。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票, 写真票, 受験票	本学所定の用紙 写真：出願前3か月以内に撮影したものを指定の箇所に貼付してください。 (上半身, 正面, 脱帽, 縦4cm×横3cm)
2. 志願理由書*	本学所定の用紙 志願者本人が作成したもの。
3. 推薦書*	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。
4. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。
5. 実技実績調査書* および添付書類 (人間発達文化学類のみ)	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。添付資料は、実技実績調査書裏面の記入要領を参照してください。
6. 検定試験関係書類 (経済経営学類B, C推薦のみ)	指定された検定試験の合格証等の写し
7. 検定料収納証明書貼付票	<p>「検定料収納証明書貼付票」裏面の「検定料支払方法のご案内」を参照の上、検定料17,000円を下記の期間内に払い込んでください。(払込手数料が別途必要です。)</p> <p>【払込期間】 平成30年10月30日(火)～11月7日(水) 16:30まで (期間外は払い込みできません。)</p> <p>「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付票」に貼付した上で出願書類に同封してください。</p> <p>出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても検定料は返還できません。</p> <p>ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった)</p> <p>イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ</p> <p style="text-align: right;">検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納担当 ☎024-548-8015</p> <p>※検定料免除について 本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成30年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。 免除の条件については24ページの「Ⅳ 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。</p>
8. 受験票等送付用封筒	本学所定の封筒 志願者本人の郵便番号, 住所, 氏名を記入し, 362円分の切手を貼付してください。
9. 宛名票(シール)	本学所定の用紙 合格通知を受けるところの郵便番号, 住所, 氏名を記入してください。

(4) 出願書類の記入上の注意

① 黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。ワープロも可。

ただし、人間発達文化学類推薦入試Ⅰスポーツ健康科学コースをスポーツで受験する者の志願理由書は手書きのみとします。

(※は、本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)からもダウンロードできます。)

- ② 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ③ 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- (5) 志願票等出願書類の出願用封筒への封入について
「出願に必要な書類」のうち、大きいもの(前頁の1～5)については、書類を折って封筒に入れてください。
- (6) 出願状況について
本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に公開します。
- (7) 受験票について
該当試験日の前々日までに受験票が到着しない場合は、本学入試課に連絡し、必要な指示を受けてください。

8. 合格者発表

・人間発達文化学類

平成30年11月22日(木) 午前11時

・行政政策学類, 経済経営学類, 共生システム理工学類

平成30年11月29日(木) 午前11時

本学中央広場の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。

学校長には選考結果を文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

J R福島駅やJ R金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

9. 入学手続

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

平成30年12月14日(金)～21日(金) 午後4時必着

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学(※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。)の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

※公立大学協会のウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「入学手続の手引き」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、推薦入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成30年12月21日(金)までに「推薦入試辞退願」(様式は任意)を出身学校長名により、理由を付して提出してください。

(3) 入学時の大学への納入金

入学料 (予定額)	各学類	282,000円
-----------	-----	----------

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。)は、入学料の返還はできません。

(参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額(予定額)は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料 (予定額)	各学類	前期分	267,900円
		後期分	267,900円
		合計 (年額)	535,800円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費(「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等)については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

10. 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料または授業料の納入が困難で、かつ、高等学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料または授業料の減免が許可される制度があります。

Ⅲ 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

1. 募集人員等

学 類	募集人員	1校で推薦できる人数	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続
人間発達文化学類	55人	5人	平成30年 12月10日(月) ∪ 12月13日(木)	平成31年 1月23日(水) または 1月24日(木)	平成31年 2月8日(金)	平成31年 2月12日(火) ∪ 2月19日(火)

次の7つの区分で募集します。

コ ー ス	入 試 区 分	募集人員
教 育 実 践 コ ー ス	小学校の教員になることを強く希望する者	10人
心理学・幼児教育コース	保育士資格を備えた幼稚園教員になることを強く希望する者	10人
特別支援・生活科学コース	特別支援学校教員になることを強く希望する者	7人
	小学校または中学校・高等学校の教員（家庭科）になることを強く希望する者	2人
人 文 科 学 コ ー ス	小学校または中学校・高等学校の教員（国語科・英語科・社会科・地歴科・公民科）になることを強く希望する者	16人
数 理 自 然 科 学 コ ー ス	理科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者	6人
	小学校または中学校・高等学校の教員（数学科）になることを強く希望する者	4人

※ 入学後は、出願時に強く希望した入試区分の教員免許を取得することになります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校（特別支援学校（盲学校、聾学校および養護学校を含む。）の高等部ならびに中等教育学校の後期課程を含む。）を平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則第93条第3項の規定により平成30年度中に高等学校を卒業または卒業見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了または修了見込みの者

3. 推薦要件

次のすべての要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者としてします。

学 類	推 薦 要 件
人間発達文化学類	(1) 学業、人物ともに優れ、小学校、特別支援学校、幼稚園、中学校・高等学校の国語科、社会科・地歴科・公民科、家庭科、英語科、数学科の教員になることを強く希望する者 (2) 平成31年度大学入試センター試験における試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者

(注) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、1つの大学・学部（学類）の学科・課程・専攻等に限りです。

したがって、本学において同一人物が「推薦入試Ⅰ」および「推薦入試Ⅱ」の両方に出願することはできません。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績および面接の成績の総合点により判定します。なお、出願書類は判定の基礎資料として利用します。

5. 採点・評価

(1) 大学入試センター試験および個別学力検査等について

教科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等の科目	大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						
			国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計
国 歴・公民 理 数 外	国（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫政経から1又は2 ＜選択①＞：「地歴」「公民」から1科目選択する場合＞ 物基、化基、生基、地学基から2及び物、化、生、 地学から1 または 物、化、生、地学から2 ＜選択②＞：「地歴」「公民」から2科目選択する場合＞ 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 ＜選択①＞〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕 ＜選択②＞〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	面 接	200	200 *100	200	100 *200	200	900	1,800

① 「地理歴史」、「公民」および「理科」について、指定された範囲の中で指定された科目数以上に受験している場合の判定に用いる科目は以下のとおりとなります。「理科」の「基礎を付した科目」については、2科目の受験で1科目とみなします。

a. 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と、「第2解答科目」のどちらか高

得点の1科目、合計3科目を判定に用います。

b. 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付した科目」から2科目、及び「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合、「地理歴史」、「公民」の「第1解答科目」と、その他の3科目から高得点の2科目、合計3科目を判定に用います。

② 「地理歴史」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目の選択はできません。

③ 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

④ 「外国語」の「英語」については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。リスニングを免除された場合および「英語」以外の科目の場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま利用します。

⑤ *印は、理科2科目を選択した場合の配点です。

(2) 面接について

面接場面での質疑応答を通して、受験生の理解力、思考力、表現力とともに、学校教育等に対する関心、意欲、適性等を総合的にみます。面接は、個人または集団で行います。面接時に資料を配付し、その資料に基づいて質疑応答を行うことがあります。

6. 試験日程・時間割

平成31年1月23日(水)か1月24日(木)のいずれか

(注) 1. 試験日および集合時間等については、受験票送付の際にお知らせします。

2. 面接時には「大学入試センター試験受験票」も必ず持参してください。

3. 試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については、試験当日、受験に関する掲示板に掲示します。

7. 出願手続

(1) 出願期間

平成30年12月10日(月)～12月13日(木) 午後5時まで

(2) 出願書類提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎ 024-548-8064

(3) 出願方法

入学志願者は、次の書類を取り揃え、この要項に添付した出願用封筒により、必ず書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分考慮して早めに送付してください。ただし、平成30年12月12日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、本学所定の封筒以外で郵送する場合は、「人間発達文化学類推薦入試願書在中」と朱書し、必ず書留速達にしてください。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票, 入学志願受付票, 写真票, 受験票	<p>本学所定の用紙 写真：大学入試センター試験と同様のもの、または出願前3か月以内に撮影したものを指定の箇所に貼付してください。(上半身, 正面, 脱帽, 縦4cm×横3cm) センター試験成績請求票：『推薦国公立推薦入試用』を指定の場所に貼付してください。 もし、成績請求票（センター試験受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と朱書きし出願してください。なお、成績請求票は到着次第提出してください。(郵送の場合は封筒に「推薦入試成績票在中」と朱書きのうえ、必ず書留速達としてください。)</p>
2. 志願理由書	<p>本学所定の用紙 志願者本人が作成したもの。</p>
3. 推薦書	<p>本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの。</p>
4. 調査書	<p>出身学校長が作成し、厳封したもの。</p>
5. 検定料収納証明書貼付票	<p>「検定料収納証明書貼付票」裏面の「検定料支払方法のご案内」を参照の上、検定料17,000円を下記の期間内に払い込んでください。(払込手数料が別途必要です。) 【払込期間】 平成30年12月8日(土)～12月13日(木) 16:30まで(期間外は払い込みできません。) 「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付票」に貼付した上で出願書類に同封してください。 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても検定料は返還できません。 ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった(出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった) イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ 検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納担当 ☎024-548-8015</p> <p>※検定料免除について 本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成30年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。 <u>免除の条件については24ページの「Ⅳ 東日本大震災(原発事故含む)および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。</u></p>
6. 受験票等送付用封筒	<p>本学所定の封筒 志願者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼ってください。 (注) 受験票は1月上旬に送付します。</p>
7. 宛名票(シール)	<p>本学所定の用紙 合格通知を受けるところの郵便番号、住所、氏名を記入してください。</p>

(4) 出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。ワープロも可。
- ② 誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- ③ 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

(5) 出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に公開します。

(6) 大学入試センター試験受験教科・科目自己確認表

志望する学類が課すすべての教科・科目を受験する予定か、各自で必ずチェックして出願してください。(注：確認の際には、17頁～18頁で受験を要する教科等をよく確認してください。)

なお、この表は提出する必要はありません。

学類	受験を要する教科名等	科目の選択方法	① 受験予定科目に✓をつける	② 必要科目が受験予定か✓をつけて確認する。	
人間発達文化学類	国語	国語	<input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	地理歴史、公民	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/> →理科<選択①>を確認 2科目チェックしている <input type="checkbox"/> →理科<選択②>を確認	
	理科	〈選択①〉	【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から2 基礎を付した2科目+1科目 合計3つチェックしている から1 ……または…… から2 基礎を付していない科目 2科目にチェックしている
			物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		〈選択②〉	【パターン2】 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
		数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	合計	<選択①> [5教科7科目] または [5教科8科目] <選択②> [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] または [6教科8科目]		【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？ ・入っている→出願に必要な科目を受験予定ですので、出願書類の確認欄に✓をつけてください。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別試験は受験出来ません。 ・入っていない→受験科目が不足しています。出願できません。もう1度確認してください。	

8. 合格者発表

平成31年2月8日(金) 午前11時

本学中央広場の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲示します。合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。

学校長には選考結果を文書で通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

J R福島駅やJ R金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については、本学は一切関知していませんので十分注意してください。

9. 入学手続

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

平成31年2月12日(火)～19日(火) 午後4時必着

指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

なお、入学手続完了後に他の国公立大学に入学手続をすることは認められません。本学の入学辞退許可を得ずに、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。）の個別学力試験等を受験しても合格者とはなりません。

※公立大学協会のウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納付するほか、「入学手続の手引き」に記載の書類を提出しなければなりません。

原則として、推薦入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成31年2月19日(火)までに「推薦入試入学辞退願」(様式は任意)を出身学校長名により、理由を付して提出してください。

- (3) 入学時の大学への納入金

入学料 (予定額)	282,000円
-----------	----------

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。）は、入学料の返還はできません。

- (参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料（予定額）	前期分	267,900円
	後期分	267,900円
	合計（年額）	535,800円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

10. 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料または授業料の納入が困難で、かつ、高等学校等における学業成績が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料または授業料の減免が許可される制度があります。

Ⅳ 障害等のある入学志願者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに入試課まで申し出てください。

Ⅴ 合格しなかった者の取り扱い

- (1) 推薦入試に合格しなかった場合に備え、本学および他の国公立大学の「一般入試」, 「専門学科・総合学科卒業生入試」の「前期－後期」の併願について、自由に2つまでの大学・学部（学類）に出願することができます。
- (2) 本学の「一般入試」, 「専門学科・総合学科卒業生入試」に出願する場合は、「福島大学一般入試学生募集要項」または「福島大学専門学科・総合学科卒業生入試学生募集要項」（11月中旬公表予定）を入手の上、改めて出願をしてください。その場合、大学入試センター試験の受験が必要です。
- (3) 本学の「一般入試学生募集要項」および「専門学科・総合学科卒業生入試学生募集要項」の請求方法は、本学ウェブサイトの「入試情報」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）をご確認ください。

Ⅵ 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

(1) 試験問題

小論文については、問題および出題意図、面接については、資料を用いた場合、その資料を合格者発表後に公開します。（学内閲覧のみ）

また、人間発達文化学類においては、面接の概要とねらいを公開します。（学内閲覧のみ）

(2) 合格者の最低点

合格者が10人以上の場合、合格者の最低得点を合格者発表時に合格者受験番号の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に公開します。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

(1) 開示期間 **2019年5月7日(火)～5月31日(金)**

(2) 開示方法 2019年4月上旬、本学ウェブサイトに掲載します。

<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

(3) 開示内容

ア. 個人成績について

人間発達文化学類推薦入試Ⅰ：小論文，面接，実技試験および実技実績評価の得点と総合点

行政政策学類推薦入試Ⅰ：小論文，面接の得点と総合点

経済経営学類推薦入試Ⅰ：(A推薦)小論文，面接の得点の総合点

(B, C推薦)小論文，面接，朱記要件加算の成績の総合点

共生システム理工学類推薦入試Ⅰ：小論文，面接の得点と総合点

人間発達文化学類推薦入試Ⅱ：大学入試センター試験の教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ），面接の得点および総合点

イ. 調査書について

「指導上参考となる諸事項」，「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知書と同等のもの）

Ⅶ 入学志願者の個人情報保護

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○ 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。

○ 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金に申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

なお、推薦入試Ⅱの志願者にあつては、センター試験の成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」といいます。）へ、推薦入試Ⅰ・推薦入試Ⅱの合格者にあつては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また、入学者選抜に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託することがあります。この場合、委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

Ⅷ 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成30年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 対象者

次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- ① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- ② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書（本要項に添付された指定の様式）
- ② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。また、「検定料収納証明書貼付票」の提出は不要です。

福島大学案内図

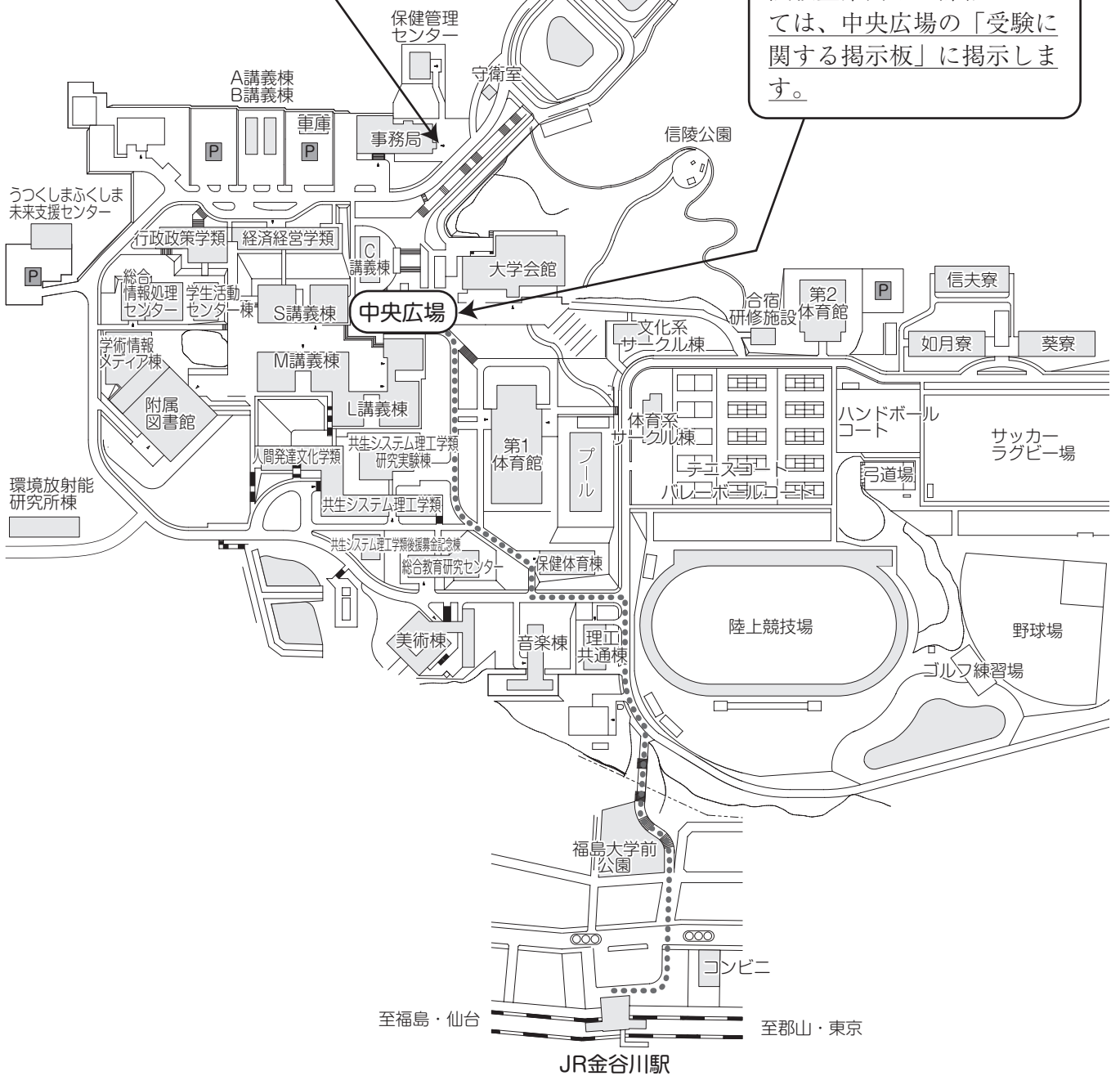


県道 至福島
福島・安達線 (旧国道4号)
至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University